

# 中国人留学生における日本的対人関係適応尺度の開発の試み

○毛 新華<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>神戸学院大学人文学部人間心理学科)

キーワード：日本的対人関係適応 中国人留学生 尺度開発

The development of a Japanese interpersonal relationship adjustment inventory for Chinese international students  
Xinhua MAO

(Faculty of Humanities and Sciences, Department of Human Psychology, Kobe Gakuin Univ)

Key Words: Japanese interpersonal relationship adjustment, Chinese international students, inventory development

## 目的

「円滑な対人関係の形成」が異文化適応の最重要課題(田中, 2000; Furnham & Bochner, 1986)とされている。毛(2010, 2013, 2014)は、日本社会に中国人留学生が増加し続けることを踏まえ、長期・短期滞在の留学生、そして、留学生を指導・世話する立場にいる日本人を対象に、留学生の日本文化適応、とりわけ日本人との対人関係に焦点を当て、自由記述調査を通して問題点を整理した。本研究では、上記の研究で整理された問題点を尺度化して、中国人留学生の日本人との対人関係における適応課題の次元を明らかにすることを目的とする。

## 方法

**調査対象者** 2013年12月～2014年3月の間、関西にある複数の大学、大学院、日本語学校に在籍している中国人留学生、そして、かつて留学経験のある中国人留学経験者135名を対象とした。有効回答は133名(男性54名、女性79名;平均年齢24.65±4.45歳)であった。

**調査項目** 前述した中国人留学生と彼らを指導・世話する日本人への調査から得た中国人留学生における日本的対人関係

適応の課題点リストに基づいて整理した81項目を用いた。また、調査対象者の年齢、性別、所属の学校・大学、来日してからの期間などの項目を加えた。さらに、尺度の併存妥当性を検討するために、中国人大学生社会的スキル尺度 ChUSSI (9件法、41項目、Mao & Daibo, 2006)、KiSS-18(社会生活で一般に必要と考えられるスキルのリスト、5件法、18項目、菊池, 1988)および、ACT(非言語的メッセージを表出するスキルのリスト、9件法、13項目; Friedman, Prince, Riggio, & DiMatteo, 1980)、そして、日本的対人コンピテンス尺度 JICS(5件法、22項目、Takai & Ota, 1994)も併せて回答を求めた。

## 結果と考察

**因子分析** 候補となる81項目の天井床効果を検討した結果、6項目が省かれた。残された項目に対して、探索的因子分析(SMC法、反復主因子法、Promax回転)を行った。因子負荷量の低い(0.35以下)項目、複数の因子への負荷量の高い項目、並びに共通性の低い項目(0.15以下)などを考慮して、尺度項目を選択しながら、繰り返し因子分析を行った結果、45項目が残り、固有値の減衰状況や解釈の可能性から5因子が抽出された(Table 1)。各因子を構成する項目の内容に基づいて、順に「関係円滑化の実現への努力」( $\alpha=.87$ )、「積極的なコミュニケーション」( $\alpha=.79$ )、「率直性と親密さへのこだわり」( $\alpha=.67$ )、「日本人を受け入れない感覚」( $\alpha=.57$ )、「ストレス感覚」( $\alpha=.53$ )と命名した。第4と第5因子の信頼性は若干低くなっている。

**併存妥当性** 得られた因子は既存尺度との相関係数を調べた。その結果、「関係円滑化の実現への努力」因子は KiSS-18(.45)、ChUSSI 全般(.61)、JICSの「階層関係の調整」因子(.56)および「自己抑制」因子(.41)と中程度以上の相関があった。日本人との人間関係を円滑化する努力には、文化一般の基礎スキル、中国で蓄積してきた中国人との対人関係、そして日本人との人間関係に自分を抑制し、相手との上下関係を意識することが重要な役割を果たしていることを意味する。「積極的なコミュニケーション」因子は、KiSS-18(.48)、ChUSSI 全般(.55)、JICSの「対人感受性」(.45)と中程度以上の相関がみられた。日本人と積極的にコミュニケーションをすることは、当人の全般的に高い社会的スキル、中国人との上手い対人関係スキルや日本人に上手くメッセージを伝達するスキルが必要であることを意味する。一方、「率直性と親密さへのこだわり」因子、「日本人を受け入れない感覚」因子、「ストレス感覚」因子は他の尺度との間、目立った高い相関係数がみられなかった。

**来日してからの年数との関係** 本研究の調査対象者の来日してからの年数は0.3年～16.7年の間に分布している。そこで、中央値の2.9年を基準に、調査対象者を滞在短期群と長期群に分けて、各因子の滞在期間による差を検定した。その結果、「関係円滑化の実現への努力」因子( $t(126)=1.95, p<.05$ )と「積極的なコミュニケーション」因子( $t(125)=3.21, p<.01$ )、そして「日本人を受け入れない感覚」因子( $t(130)=3.25, p<.01$ )のいずれにおいても、長期群の方は短期群より得点が有意に高くなっている。中国人留学生は在日の期間が長いほど日本人と関係の円滑化と交流を進めようとすると同時に、日本人との対人関係に多くのストレスも抱えている。

Table 1 中国人留学生の日本文化適応課題尺度

因子と項目	因子負荷量				
	F1	F2	F3	F4	F5
<b>F1:関係円滑化の実現への努力</b>					
70 日本人との付き合いでは、自分の言動は相手の気分を害することがないように気をつける。	.77	.03	.11	-.07	.09
69 日本人との付き合いでは、教員や上司からの指摘を真摯に受け止めるべきだと思う。	.67	-.02	.15	.04	-.07
71 日本人との付き合いでは、より相手の立場に立って、相手のために考える。	.61	-.08	.22	.09	-.05
37 同じ職場や学校などの日本人に対して、たとえ相手が自分よりよっぽどだけ年上であっても、敬語や敬意を表す言葉を使う必要がある。	.59	-.02	.01	.09	.09
63 日本人との付き合いでは、相手のことを肯定してから話題を展開するようにする。	.58	.02	-.13	.03	-.21
72 日本人同僚や同級生と協力しあうように、離反行為は絶対してはいけないと思う。	.58	.01	.15	.13	-.10
61 日本人との付き合いでは、物事を進めるには、自分のことだけではなく、相手の立場を十分に考慮するようにする。	.57	.19	-.02	-.03	-.02
62 日本人との付き合いでは、相手との物理的な距離に気をつけて、近すぎない反響する。	.51	-.06	.14	-.09	-.21
78 日本人との付き合いでは、たとえ表面的な付き合いでも、私もまじめに対応していく。	.50	.02	.06	-.30	.09
16 日本人との付き合いでは、相手との物理的な距離に気をつけて、近すぎないようにする。	.50	-.17	-.09	-.17	.20
64 日本人との付き合いでは、相手の立場などに応じて会話の内容と自分の言葉遣いを調整する。	.47	.15	-.22	.26	.00
48 日本人に助けを求めて問題を解決したあと、相手に一報すべきだと思う。	.47	.03	-.19	.01	.04
30 日本人との人間関係上のイザコザをできるだけ避けるようにする。	.45	-.04	-.08	.10	.09
35 日本人との付き合いでは、その場の雰囲気に応じて、自分の服装や態度や行動様式を調整する。	.45	.26	-.07	.22	.11
32 日本人との付き合いでは、相手に不満を持って、心に収めて表情に出さないようにする。	.41	-.11	-.09	.08	.11
5 日本人との付き合いでは、たとえ毎日会う相手に対しても細かい礼儀を粗末にしない。	.41	.15	-.16	-.12	.11
15 日本人との付き合いでは、意見の相違に対して、私はいつも話し合いを通して解決しようとする。	.39	.19	.07	-.14	-.16
<b>F2:積極的なコミュニケーション</b>					
7 着席、日本人と交流する話題のネタを蓄積するように心がけている。	-.03	.67	-.08	-.09	-.01
65 様々な懇親会などに出て、日本人と普段にできないコミュニケーションを行う。	.01	.63	.17	.10	.05
81 日本人での生活では、できるだけ多くの日本人と交流するように心がけている。	-.05	.60	.24	-.05	.26
45 日本人との交流時間を増やすように心がけている。	.07	.54	.09	-.11	.08
31 日本人が私に歩み寄ることを待つより、私は率先に彼らと交流しようとする。	-.07	.53	-.06	-.22	-.01
23 日本人との付き合いでは、共通の話題を見つけて、交流を深めている。	.20	.50	.00	.00	-.15
54 日本人との付き合いでは、相手の価値観や行動様式を十分に尊重する。	.23	.46	-.09	-.03	-.14
22 外国にいる自分はいへんであり、自分の獲得は当然大事である。	-.23	.43	.01	.19	.15
34 細心に入れば細心に従え、日本人のやり方をよく観察し、理解し、模倣するようにする。	.23	.41	-.07	.23	.00
10 日本人との付き合いでは、日本の表現を使うようにする。	.07	.39	-.10	-.09	-.03
<b>F3:率直性と親密さへのこだわり</b>					
46 日本人とあることについて話し合うとき、積極的に自分の意見を出せば、早く結論を得ることに役立つと思う。	.36	.00	.54	-.10	.16
53 日本人との付き合いでは、友だちであれば、とても親密な関係になるべきだ。	-.05	.07	.53	.26	-.02
39 日本人との付き合いでは、心に思っていることはそのまま表現する。	-.04	.02	.52	-.13	-.17
1 日本人は中国人と大差がなく、中国でのやり方は日本でも通用すると思う。	-.05	-.08	.51	-.02	.13
41 日本人との付き合いでは、自分の考えなど率直相手に伝えるようにする。	.13	-.15	.47	-.17	-.03
12 日本人との付き合いでは、相手と付き合いさえあれば、どんな困難でも相手に援助を求めることができる。	-.06	.04	.43	.11	.09
5 日本人の友だちとの間、相手の個人的な情報を知ることを通して、相手との親密な関係を促進できると思う。	-.07	.24	.43	.18	-.12
<b>F4:日本人を受け入れない感覚</b>					
30 日本人との付き合いでは、自分と違う類の人を排斥する	-.06	-.22	.13	.57	.08
36 日本人は外国人に距離を置くことは日本文化によって決められる。	.12	-.04	-.01	.50	-.02
43 日本に滞在しているが、日本人より、中国人と一緒に行動したい。	-.06	-.19	.14	.50	.14
38 日本人との付き合いでは、初対面の人に深入りしないように気をつける。	.27	-.05	-.13	.49	-.17
9 日本人の心からの招待と社交辞令をよく見分けることができる。	-.03	.12	.08	.37	-.16
11 表ではある人に暖かく接しているのに、裏では人のことをやかく言う日本人にあっけにとられてるのが苦しい。	.08	-.04	-.05	.36	.16
<b>F5:ストレス感覚</b>					
60 日本人との付き合いでは、自分がわからないことがあるほどでも面子が立たないと感じる。	-.04	-.08	.03	-.06	.60
80 日本人との付き合いでは、時々ストレスを感じる。	.10	.05	.09	.00	.52
79 日本人との付き合いでは、日本人の言外の意味によく気をつけるようにする。	.28	.28	-.09	-.02	.48
55 日本人との付き合いでは、新しい団体に入った時、団体中の流れを観察して加入する。	-.13	.24	.06	.15	.36
27 相手は中国人でも日本人でも、縁があると思ったら、すぐ相手と友だちになつて大丈夫と思う。	-.08	.34	.14	-.11	-.41

本研究は、平成23年度～25年度学術研究助成基金助成金若手研究(B)(課題番号23730580)および神戸学院大学人文学部平成25年度研究推進費の助成を受けた。